第1回日吉津小学校運営協議会会議録

- 日時 令和3年9月27日(月) 午後7時30分～午後8時45分
- 場所 日吉津小学校子ども図書館「まなびルーム」
- 出席者 井田博之(教育長)、江見幹人(P T A会長)、田辺昌宏(地域代表)
井藤健志(地域代表)、立脇賢二(学校支援ボランティア)
吉崎勇(学校支援ボランティア)、兼本修二(学校支援ボランティア)
石 敬子(学校支援ボランティア)、山根直樹(社会教育委員)
山路由紀子(保育所所長)、太田敦弘(小学校校長)
河本里美(小学校教頭)、横田威開(教育課長)
網岡紗希(地域コーディネーター)

○欠席者 なし

1. 開会 午後7時30分から

○司会進行 横田課長

2. あいさつ

○井田教育長

昨年度は、学校運営協議会設置推進委員会に出席いただき、日吉津村の子どもたちにこのように育ってほしいという願いがまとまった。高度情報社会といわれる社会に変わってくるからこそ、子どもたちは「地域を学ぶ、地域で学ぶ」という実感をもなった学びが必要となってくる。今日お集まりいただいた皆様と熟議等を通して、「こんなことができたらいいな」というアイデアを出し、実現させることができている会にしていきたい。

〈地域コーディネーター網岡と長谷の紹介〉

3. 議題

(1) 委嘱状の交付

○P T A会長の江見さんに代表して委嘱状を交付する。

(2) 自己紹介

○顔見知りの方がほとんどであるが、第1回目であるので、日吉津小学校等の関りなどを交えながら自己紹介する。

(3) 学校運営協議会の趣旨について

○横田課長より説明

「地域とともにある学校づくりをめざして～コミュニティ・スクール導入に向けて～」

の資料より。

- ・近年、学校と地域を取り巻く課題が複雑化、多様化している。
- ・我が国における総人口は現在急激に減っている状態である。総人口の長期的推移のグラフより、1868年の明治維新から増え続けているが2004年をピークに急激に減っていることがわかる。100年後には、人口は明治維新の時と同じくらいになると予想されている。
- ・人口減少に伴い、地方消滅の危機を迎えている町村がある。
子どもが減り学校の統廃合が行われることで、母校がなくなり、若い世代がこれからここで生活をしようとはならず、人が集まらなくなり、人口が減ってしまう。自治会に入る人が減少し、東日本大震災の時には、近所の人々の安否確認ができず困ったということを知っている。
- ・少しずつ人間の労働をAIが変わってっていくようになる。
- ・地域の間人間関係が希薄化し、近所づきあいや親戚づきあいも減少してきている。家庭では少子化が進み、社会性の基礎となるべきものが自然に身につくことが困難になってきた。
- ・学校現場では、発達障がいの診断をされる子どもが増加し、通常学級にいても学習についていけない子どもがいる。そのため、障がいに応じた特別な指導（通級指導）を受ける子どもが増加している。また、不登校の子どもの割合が増加している。ほかにも、学力格差の広がり、愛着障がい、ゲームのしすぎなどが身近な課題としてある。これらは都会・田舎関係なく日吉津小学校でもこれらの課題を抱える子どもがいる。
- ・学校職員の仕事は拡大し、多様化している。（心理・福祉面の支援、通学路の安全確保、学校外での生徒指導、保護者対応、特別支援教育、さらにプログラミング学習、英語学習、新型コロナウイルス対応など。）
- ・このような状態であるからこそ、学校・地域・家庭のそれぞれの立場を生かしながら、子どもたちに関わっていくことが大切である。
- ・これからの時代を生き抜くために今求められているのは、学校だけでは得られない経験や能力である。今回集まっていたみなさんに学校に関わっていただいていることは、日吉津の子どもたちを育てていくには不可欠である。
- ・コミュニティ・スクールとは、学校運営協議会を設置している学校のこと。
- ・学校運営協議会とは、一定の権限を持って、学校運営とそのために必要な支援について協議する機関のこと。
- ・学校運営協議会の役割について
 1. 学校運営の基本方針を承認する
 2. 学校運営について、意見を述べるができる
 3. 教職員の任用に関して、教育委員会規則で定める事項について、意見を述べるができる。
- ・コミュニティ・スクールは、学校と協力していただく各ボランティア団体の両輪で回っていく。この2つをコーディネートするのが、地域コーディネーターである。
- ・地域と学校がともに子どもを育てていく仕組みがコミュニティ・スクールである。

- ・日吉津村学校運営協議会規則について
 - ・第5条について、「委員の任期は、任命の日から当該年度の末日までとし、再任を妨げない。」と定めており、令和4年3月31日までと任期を定めてる。
 - ・第6条について、「職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も同様とする。」と定めており、個人の情報については、しっかり守っていただきたい。

(4) 令和3年度日吉津小学校運営方針について

○太田校長先生より説明

「令和3年度 日吉津小学校グランドデザイン～未来を拓く日吉津の子～」より

- ・令和3年度の日吉津小学校の全校児童数は210名。
- ・日吉津村教育大綱「未来の日吉津を担う、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな児童の育成をめざし、家庭地域から信頼され、協働の生まれる学校づくりに努める。」をもとに、地域の方からの願いや思いなどの具体的なものを踏まえながら学校づくりを行っていききたい。
- ・「学校教育目標 心はずませ なかまとともに 挑みつづける児童の育成」について

【めざす児童の姿】

- ・自ら学ぶ子（知）
- ・ともに生きる子（徳）
- ・やりぬく子（体）
- ・知：まなびづくり【知る 考える できる】
 - OKJを軸にした授業づくり（わかる、できる、ふるかえる）
 - 日吉津30人学級
 - 日吉津スタンダード
 - ひえづっ子タイム（補充学習）
 - 教科担任、専科、少人数指導
- ・徳：なかまづくり【自分も大切 だから 人も大切】
 - 多様性の理解
 - 人権教育、特別支援教育
 - 特別活動を通じた自治力の育成
 - 異年齢活動（縦割り）の充実
- ・体：こころ体づくり【元気 つづける 立ち上がる】
 - 早寝早起き朝ご飯 歩いて登校
 - 体力向上
 - 心と体の健康教育、防災教育
 - 不登校、早期対応サポート
 - 自己肯定感の向上（ほめほめ）
 - 日吉津チャレンジ100

・夢：みらいづくり【ひともの関心体験】

→未来の力

英語力 ICT活用力 説明力

キャリア教育（ふるさと郷育）

総合的な学習

一人力 自立を試す

ひえづのあたりまえ→「あいさつへんじ」、「くつそろえ」、「だまって掃除」

(5) 年間スケジュールについて

○地域コーディネーター網岡より説明

- ・今年度は、委員会を6回予定している。第2回は、熟議のテーマについて話し合いたいと考えている。第2回、第4回、第5回には「リーフレットについて」を議題にあげている。リーフレットの中に子どもの声やお世話になっている地域の方の声を入れられたらと考えている。今年度は新型コロナウイルス感染防止のため、視察研修は実施しない。

○横田課長より追加説明

- ・新型コロナウイルス感染症等の関係で、第1回が9月開催となった。1月まで毎月開催する予定にしているが、目指すものを統一して進めていくことが大切であり、熟議を行うよう計画している。

(6) 会長・副会長の選任

会長：山根直樹（社会教育委員）

副会長：井藤健志（地域代表）

(7) その他

- ・第2回学校運営協議会の予定について

令和3年10月20日（水） 午後7時30分から

- ・諸連絡

- ・委員報酬については、10月中旬頃に振り込む予定。
- ・10月から日吉津小学校に学習支援員1名増員し、個別に指導できるように配置する。教えて考えさせる授業で、理解したことを説明できる力をつける。体験がより一層充実するようお願いしたい。

4. 閉会

午後8時45分